

区民と区長のタウンミーティング グループワーク意見

	1班	2班	3班	4班	5班
8050問題についてどのようにとらえているか。	<ul style="list-style-type: none"> ・8050問題を知らない人が多い。 ・実際は言えなくてという親が多い印象 ・途中から引っ越してきた人とどう接点を持つか、本人も周りもわからない。 ・子どもに恐怖心を抱いている人もいる。 ・外に出ないのが問題。社会でオープンに。 ・本人も外に出なきゃとは思っているようだ。趣味のためには出かける。 ・30～50代だと、まず働くところからとなりがちだが、難しい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・8050の課程からの相談をどう受けるべきか。実態が見えない。 ・実態把握は喫緊の課題 ・引きこもり当事者はどのように感じているか。問題意識の有無。 ・日々、相談のある内容が8050に当てはまること、多々あります。 ・「引きこもり」の課題は、上鷺宮、鷺宮付近は多くあると感じている。 ・15～39歳の引きこもりを8050問題にしないためにはどうしたらいいのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・仕事で精神疾患の子、親の高齢化、発達障害の問題に関わったことがある。 ・不登校のまま学校をやめていく生徒。このまま引きこもってしまったら…と感じる。本人の自立について保護者と話をしても「私が生きているうちは…」と考えていない様子。支援が必要。 ・高齢者の居場所づくりをしています。パラサイトの影はたくさん感じます。 ・身近に感じたことはないが、よくテレビで見る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・なぜ引きこもりになるのか。原因は？ ・支援とか活動している団体に行けない人が多いのでは？ ・引きこもり（メンタルで退職、休職してしまう社員が多い） ・地域で高齢化が進んでいると思っているが、8050問題と引きこもりはピンとこない。どちらかという話に聞くものの、実際にお会いしたことがない。どのように8050問題の仮定の相談を受けるか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・8050問題は今回初めて聞いた。今後の参考にしたい。 ・親の介護で退職してしまった50代 ・民生委員、保健師の機能不全 ・本人がどのように殻をやぶっていいかわからない。家族も一種諦めている。どこに相談しても同じ。 ・両親は健在。50歳の息子が職場関係の悪さから引きこもり。一日中食事以外は部屋から出てこない。⇒家での役割がない。⇒親は50歳の息子から目が離せない。⇒社会での役割 ・そもそも8050問題の課題は？経済面⇒8050問題がどうしたら解消するか。⇒50が労働すること？ ・8050問題は引きこもりだけではないのでは。
支援策	<ul style="list-style-type: none"> ・悩んでいる親を救ってあげることも必要 ・親が言っても聞かない。煮詰まる。真面目な人が多い。 ・近所の人が救った。 ・親が亡くなった後は生活保護で救っていくしかないのでは。 ・親の大変なところを見せないといけないのでは。 ・親の年金があるうちは…自分が乗り越える気持ちは必要 ・みんながお節介になって、それを継続しないといけない。拒否されることもあるなかで、お節介を継続するのは辛い。 ・学校を休む理由を作らないことが大事。学力が理由になることもある。 ・①親ではない親しい人に間に入ってもらう ②法的な根拠等で専門のカウンセラーが入る ③生活保護のタイミングで意識を変えてもらう。 ・外に出る理由は簡単にできる仕事でもいい。達成感が必要。 ・年代ごとにケアするのではなく、一体的に幅広くケアする必要。 ・一人を救うのにも何年もかかる。長い時間をかける必要がある。 ・郵便ポストがその人との窓口になるかもしれない。長く続けることが大事。 ・高校から35歳くらいまでの間に孤立してしまうと、周りから見えない。カタルーベの会。小さいときから気をつける。 ・周りのサポートでも外に出られない人が引きこもりになる。 ・働き始めても体調が悪くなってやめてしまう。継続できるにはどうしたらいいのかわからない。 ・自尊心が強いのか色々提案しても動いてくれない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・近隣住民等の「気になる」という声からの相談はとても貴重で大切 ・40歳以上になってからの引きこもり。きっかけは退職したこと。再就職しにくい年齢。雇用の問題もあるのではないかと。 ・多様な支援のあり方はどんなものだろうか。 ・地域の活動にゆるやかに参加していただくことはできないか。 	<ul style="list-style-type: none"> 引きこもちにも様々な原因がある。アスペルガーetc.の自閉症、発達障害が関わる場合は、早期に福祉と医療の支援が必要。 ・今始まったことではない。オープンにできない閉ざされた家族の方が問題が深刻。 ・家族間で解決するのは難しい。 ・社会構造の変化。コミュニケーションツールの多様化による社会全体でのひずみ ・50代が引きこもりでなくても（一応仕事をしていても）80代の親にパラサイトしていることがあります。 ・自立支援は大事だと思うが、親亡きあとも安心して生きていける体制を整える方が最重要だと感じる。 ・周囲に相談できる環境を整えるべき。たとえばそういう引きこもりの人が閉じこもらずに話し合いができるサロンを作ったりする。社会とのつながりを増やしてあげる。 ・地域で声をかけ合えるような関係づくり専門相談についての関係機関の連携強化 ・趣味等を通じて外に出ようという意欲を自発的に持たせる ・教師という立場から、スクールカウンセラー、特別心理士、YSW（ユースソーシャルワーカー）につなげるよう、保護者にうながす。 ・アウトリーチ支援員の充実 ・仕事がない?仕事は長続きしない?パラサイトしている人のできることをアドバイスして、引っ張り出すことが必要。 ・ゆるやかにつながれる居場所。安心・安全で、当事者や家族の集える場の提供 ・地域の支えが必要。コミュニケーション作り、共働きだと近所付き合いがなかなか発生しない。周囲に相談できる環境を整えるべき。例えば引きこも 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の方々が参加。8050問題。有償ボランティアetc.。中野区の認知症サポートリーダー 	<ul style="list-style-type: none"> ・近くに話のできる人がいない。引きこもっていても改善されないと思うので、自分から地域の行事等に興味をもって参加することを…話してくれる人が身近にいると良いと思うが。 ・積極的なサポート。80代の人の積極的な参加。 ・トラウマの解消、発達障害、就業のプロセス作り、当事者、虐待 ・50代退職後、アレルギーで引きこもる。⇒町会のイベントに参加するなど ・50代退職後、精神疾患で引きこもる。⇒病院しか拠点がないのが問題 ・50が労働できない、引きこもりの原因。うつや精神疾患などの病気、80の介護、トラウマ（虐待、セクハラ、パワハラなど） ⇒行政のサポート、啓蒙、医療との連携 ・改善されない原因 ①病気 ⇒ 病院しか接点ない、就業場所がない、家族が対策がわからない ②介護 ⇒ 介護離職 ・課題 ①社会との接点の不足、②家族が対策を知らない ・対処案 ①民生委員などの地域のサポート、②公開することは恥ずかしくないという啓蒙活動、③病院・医療と福祉の連携
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・一人で高齢になると寂しい。 			<ul style="list-style-type: none"> ・個人情報保護法のデメリット。実態が見えづらい。事態把握がまったくできない。ご近所でも家庭状況すら把握ができない状況がある。 	